

# 総合計画とは



## ① 総合計画の全体像

本市では、「人間尊重のまちづくり」「市民参加のまちづくり」「豊かさを創造するまちづくり」を基本理念とし、平成32年(2020年)の達成すべき将来都市像である「夢と活力あふれる 元気都市・東大阪」を創造するため、平成15年から平成32年の18年間を計画期間とする第2次総合計画を作成し、まちづくりを推進しています。この総合計画は、本市のすべての施策を進める上での拠り所となる最も重要な計画です。

総合計画は、基本構想<sup>1</sup>、基本計画、実施計画で構成されています。それぞれの位置付けは次のとおりです。

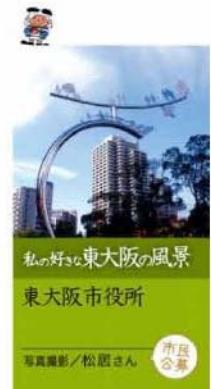


※1 基本構想：自治体の将来の展望に基づいて立てられる自治体運営の最高理念で、施策の基本方向を示すもの。

## ② 後期基本計画の位置付け

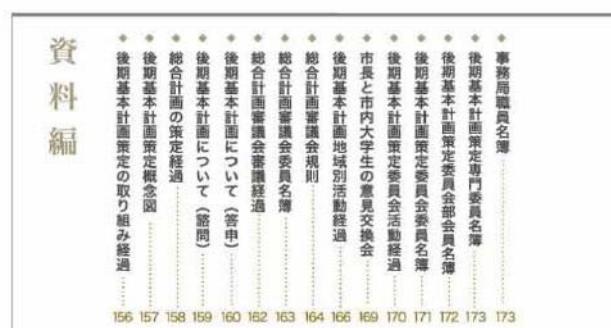
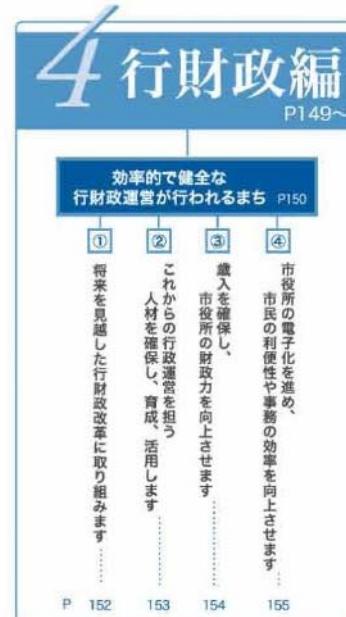
後期基本計画は、基本構想を受けて、平成32年を目標年次とする本市のまちづくりの基本方針を明らかにし、その目標達成のための主要な施策を、総合的かつ体系的に示した市政の基本的な計画で、実施計画の基礎となるものです。

また、後期基本計画が実効性あるものとなり、その成果を把握できるよう、進行管理、評価などを行うとともに、広くその結果を公表していきます。



私の好きな東大阪の風景  
東大阪市役所

## 東大阪市第2次総合計画 後期基本計画 施策体系図



ラグビーのまち  
東大阪

# 活力ある産業社会を 切り拓くまちづくり

独自の技術などを有する中小企業の集積を生かし、大都市圏に立地する優位な条件の下で、新しい時代に対応する新たな産業を育成するとともに、産業を活性化するための総合的な環境整備を進めます。

## —実現に向けて取り組みます—

### 21節 モノづくりが元気なまち

- ①モノづくり企業の高付加価値化を支援します
- ②「モノづくりのまち東大阪」を次の世代に引き継ぎます
- ③モノづくり企業の販路開拓を応援します
- ④地域経済の連携、交流に取り組みます

## ○こんな東大阪市をめざします



21節 モノづくり企業の集積を生かし、市内企業の付加価値をさらに高めていくとともに、将来世代へ技術を伝えるなど、工業が発展するまちをつくります。



24節 モノづくりをはじめとするすべての地域産業を総合的に支援し、産業活動にとって魅力のあるまちをつくります。



22節 魅力あふれる商店街づくりなどによってだれもが身近で気軽に買い物ができる、にぎわいのあるまちをつくります。



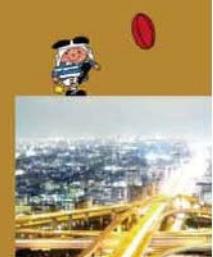
25節 市民が安定して就業し、健康で生きがいを持って働くことができるまちをつくります。



23節 地元で採れた安全な産物を味わうことによって、市民が農業に親しみを持ち、農業と農地空間を大切にするまちをつくります。



26節 市民の消費者意識を高めるとともに、生活物資の購入環境を整えることによって、安全で安心な消費生活を送ることができるまちをつくります。



私の好きな東大阪の風景

荒本ジャンクション

### 23節 農業と農地空間を大切にするまち

- ①安全で新鮮な農産物を消費者に届けます
- ②東大阪の特産物を地域ブランドとして発信します
- ③農業と農地空間の担い手を育てます
- ④農地空間の持つ価値や機能を生かします
- ⑤有害鳥獣被害への対策を進めます

### 24節 産業活動にとって魅力のあるまち

- ①居住環境と工場の操業環境の共生を進めます
- ②金融面から産業活動を支援します
- ③経済施策情報を分かりやすく発信します
- ④クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

### 25節 雇用が安定し、働きやすいまち

- ①働きがいのある労働環境づくりを支援します
- ②安心して働ける労働環境づくりを支援します
- ③若者の就業を応援します
- ④就職に困っている人の雇用を促します
- ⑤高年齢者の生きがい就労を応援します

### 26節 消費者が守られるまち

- ①安全で安心な消費生活ができるようにします
- ②消費者の自立を支援します
- ③環境にやさしい運動を進めます
- ④生活関連物資を安定して適性に供給できるようにします

# 産業活動にとって魅力のあるまち

## 基本方針

産業の集積は、本市の発展の基盤であることから、モノづくりをはじめとするすべての産業活動が安定して続けられるよう、産業活動にとって魅力のあるまちづくりを進めます。

そのため、住宅と工場が共生しながら操業が続けられるような環境づくりや、金融面からの企業活動の支援、産業活動に役立つ情報提供を通じて、地域産業を総合的に支援します。

### 現状と課題

本市では、製品・部品をつくり出すために、近隣の工場同士が協力し合い、工場間のネットワークを通じた生産活動が盛んに行われています。本市の産業活動を支えるためには、既にある産業集積を維持、継承せざるを得ません。しかし、企業の市外移転や倒産、廃業などによってできた工場跡地の宅地化が進んだことで、住工混在が進み、周辺企業の操業環境は悪化しています。そのため、企業が安心して操業できる環境を確保し、住工共生に向けて取り組むことが期待されています。

また、本市には小規模企業が多く、景気などの社会動向による影響を受けやすいことから、安定した企業活動を金融面から支援できる行政機能（相談窓口や公的融資制度など）が必要です。

さらに、企業の的確な意思決定を支えるために、企業に役立つ情報を迅速に提供することが重要です。

そのほか、東部大阪地域のモノづくりの支援拠点であるクリエイション・コア東大阪を活用して、さらなる新技術・新商品開発や販路開拓など、地域産業を総合的に支援することが求められます。

### 目標指標



## 取り組みのあらまし

### 1 居住環境と工場の操業環境の共生を進めます

工業が集積している地域における住宅と工場の混在などの操業環境を改善するため、モノづくり企業の高い付加価値を持った製品づくりにつながる良好な操業環境の整備を進めています。また、産業振興と都市計画などとの組み合わせによる総合的な施策の展開により、住工共生に向けた取り組みを進めています。

### 2 金融面から産業活動を支援します

企業が必要とする資金繰りなどの金融相談に対して総合的に対応できるよう、クリエイション・コア東大阪内の融資相談窓口の体制を整えます。また、企業が利用しやすい公的融資制度を提供していきます。

### 3 経済施策情報を分かりやすく発信します

産業施策や市内事業所の景気の動向などの中小企業情報を、市内事業者へ提供することで、経済施策の利用につなげていきます。また、経営や技術などに関するセミナーを通じて、経営の高度化や未来を担う産業の育成を進めています。

### 4 クリエイション・コア東大阪を有効に活用します

東部大阪地域のモノづくり支援拠点として整備されたクリエイション・コア東大阪が持つ、総合相談窓口機能や产学連携の推進機能、コンベンション<sup>※1</sup>機能などを活用し、クリエイション・コア東大阪の入居団体や事業者と連携して、地域産業を総合的に支援していきます。

※1 コンベンション：会議や展示会などの大規模な催し。

みんなで…

住工共生に向けた取り組みに対する理解を深めましょう。

市内事業者は経済施策を活用しましょう。

